

広報
276 号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東 3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 近藤 勝
編集広報委員会



1 月中旬に花開くピンクの琉球、緋寒桜。

城南支部 梶野泰一

〈 主 な 内 容 〉

時の視点

座談会「集荷部から見た古紙業界の現状と今後」 2～3

時の話題

静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会 3～5

第 8 回 合同新年会 5～7

東京返本加工協同組合 新年会開催 事務局 7～8

集荷部新年会開催 集荷部部長 宮崎勝保 8

支部便り

〔新年会開催〕 城南支部 坂田英夫 8～9

〃 荒川支部長 久保田貞行 9

〃 江墨支部幹事 埜島昌利 9～10

〔組合員紹介〕 中央支部 富岡良二 10

〃 山手支部 中谷浩康 10～11

組合員の広場

ニュージーランド旅行記 理事長 近藤 勝 11～12

損害保険代理店の紹介

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社代理店

株式会社ウィル・プロモート 12～13

～シリーズ～新東京タワーの見える街

「スカイツリー 30 景」その④ 13～15

支部スケジュール

お知らせ 17

「4 月会議・催事予定」「古紙価格」

「社名代表者変更」「代表者変更」「訃報」

会議概要〔1・2 月〕 17～23

編集後記 広報部部長 清水弘允 23

広 告 24

時の視点

座談会「集荷部から見た 古紙業界の現状と今後」

(出席者) 宮崎集荷部部长、近藤集荷部副部长、
山口集荷部委員、赤染直納部部长、
清水広報部部长、脇広報部副部长

(日 時) 平成 23 年 2 月 23 日 (水)

PM5:15 ~ PM6:15

(はじめに)

今回は有志の方に集まって頂き、「集荷部から見た古紙業界の現状と今後」について、忌憚のない意見を述べて頂きたいと思います。

出席者のご意見は、広報部の文責にてまとめます。

(集荷部の置かれている現状)

古紙に関する統計資料を見ると、いろいろの傾向をさぐる事が出来る。

紙・板紙の生産量は、過去 20 年間で 2,800 万トンから 3,100 万トン位まで増加したが、2008 年秋のリーマンショックで 2,650 万トンまで落ちこんだ。2010 年には 2,800 万トンに回復したが、それでも 20 年前のレベルと言う事になる。

古紙の回収量は過去 20 年間で 1,400 万トンから 2,300 万トンまで大幅に増加した。それは「東京ルール 1」による行政回収や集団回収など回収促進策が功を奏し、回収率が 50%から 80%まで伸びたからである。

しかしその間、回収量が消費量に先行して増加したため、古紙価格は低迷し古紙業界は大変な苦勞をした。バランスが取れたのは 2001 年から中国を中心に輸出が本格化してからである。

古紙の品種別消費量を見ると、過去 25 年間で裾物三品が 400 万トンから 1,450 万トンに急増したのに対し、その他の品目は合計しても、130 万トンから 270 万トンに増加したに過ぎない。しかも増加品目は模造・色上だけでオフィス古紙の増加がその主たる内容である。余剰分は輸出でバランスを取って来たが、輸出品目のほぼ全量が裾物三品であった。

要するに集荷業が扱ってきた産業古紙は、過去 25 年間で若干増えた時期もあるが、減少を続けており、今後もその傾向は変わらないだろう。

産業古紙は絶対量で減少しているだけでなく、古紙全体に占める相対的な割合も低下して、10%を切っている。従って相場形成に与える影響力もほとんどなくなった。

(集荷部の業態について)

東京には製本所、印刷所が集中していたので、東京の集荷業者は、産業古紙の集荷のみの業態が多かった。しかし、これは全国的に見た時、かなり例外的な事例と言える。

他地区の多くの回収業者は、古紙だけに限定しては商売にならないから、金属スクラップ、びん、カン、古布などを扱って来た。それが幸いして扱い品目を広げる事につながった。

東京協組の組合員も、あまり自社の商圈をこれしかないとして自己規定せず、周辺商圈を取りこむ努力が必要である。産業古紙に特化した集荷のままでは、取引先の商売が縮小すると、即、自らの商売も縮小してしまう。東京協組 220 社の大方は集荷業者であるから、集荷業者の地盤沈下は、東京協組の地盤沈下と言う事になる。

産業廃棄物業者や東資協など、同様の危機感を持つ周辺業界は、周辺商圈であった古紙市場の取り込みに努めて来た。業界活動も活発で、東京都との関係を深め古紙発生元である一般家庭と直接

つながる団体として、行政からも認識された存在となっている。

東京協組も、個々の組合員は、一部地域で集団回収、行政回収、新聞店回収、オフィス古紙回収などに関わり、家庭系、事業系、流通系の古紙を扱っている。産廃収集運搬業の免許を持って取引先のニーズにきめ細かく対応している会社もある。しかしどちらかと言うと守りに終始して来たのではないか。

集荷部内には、個々の集荷部員レベルで、地域により多様な業態に従事している事例があるのだから、もっとそれらについて情報交換をしたらよい。

そして 5 年先、10 年先を見据えたあるべき集荷業の業態を、今からでも遅くないから開拓する必要がある。いろいろ意見交換をする中で、いろいろ考えも出て来るだろう。出来る・出来ないは、それからの事だ。

（受け皿の必要性）

個々の集荷部員の多様な業態を把握した上で、組合が出来ることがあるとすれば、それは「受け皿」作りではないか。

今回、意見交換の中で感じた事は、新しい業態を開発する場合、個々の企業が取り組むためにも、取り組む対象に応じ、対象地域ないし業態別の「受け皿」としての組織が必要と言う事であった。

特に行政を相手にする場合、「受け皿」は不可欠と感じた。

今回の座談会で、東京協組の支部員が別組織の中心になって活動している事例を多く聞く事が出来た。台東支部、江墨支部、城南支部、城北支部などである。

地域の特殊性に応じた対応には、地域を知った組合員による地域に根差した活動が求められる。

資源ごみの扱いは行政から民間に主体が移行す

るのが時代の流れであろう。「雑紙」を資源として、どう取り込むかも、これからの課題である。

これらの流れに如何に我々が「受け皿」として関わるかが課題であり、それには日頃から外に向け、存在感を印象付ける組合活動が必要である。

（おわりに）

限られた時間内での意見交換でしたが、組合員が抱える問題点が、結構浮き彫りになった。

組合は基本的に商売に直接関わるべきではないが、日頃仕事に追われて商売の全体像、将来像を考える機会の少ない組合員に、そう言う機会、情報を提供する必要性を感じた。

時 の 話 題

静岡県紙業協会家庭紙部会 との懇談会

[平成 22 年 3 月 11 日（金）午後 2 時 00 分～]

於）富士工業技術支援センター

出席者：静岡県紙業協会家庭紙部会 20 名

（内、家庭紙メーカー 18 名）

静岡県製紙原料商業組合 8 名

東京都製紙原料協同組合 11 名

（財）古紙再生促進センター 1 名

関東製紙原料直納商工組合 1 名

三団体代表挨拶

イデシギョー（株）井出会長

[静岡県紙業協会家庭紙部会]

家庭紙の状況は、パルプの価格や燃料等の価格も上がっており、製品の価格修正には好条件となっている。あるメーカーでは、新商品の価格修正をして、現行の商品は価格を調整して販売し

ていくようである。パルプロールの価格修正は、いっさい行われないうである。大手メーカーではティッシュペーパーは赤字となっていると聞いている。又、再生紙は生産過多で在庫が多くなっており、各メーカーでは操短をしている状態である。製品の価格修正に期待しているが、時間がかかるのではないかとと思われる。

近藤理事長 [東京都製紙原料協同組合]

日頃から家庭紙メーカーの皆さまにはお世話になり、古紙原料対策についてもご理解をいただきありがとうございます。古紙をとりまく環境の中で年々、発生が減少し、輸出がますます活発になってきております。今後、国内の需給をどのようにバランスをとっていくか、本日は（財）古紙再生促進センターと関東製紙原料直納商工組合に、その話をしてもらう事になっております。

佐野理事長 [静岡県製紙原料商業組合]

このところ家庭紙原料を含む裾物 3 品の輸出価格が上昇しています。本日、掲載の新聞を見ても内外格差が拡大している事が良く分かります。家庭紙の古紙原料価格は、限界にきているのではないかとと思われます。本日は情報交換を交えながら現状を確認し、良い環境になりますよう期待できたらと思います。

＊（財）古紙再生促進センターの木村専務理事より、減少傾向をたどる家庭紙原料について古紙センターを活用してみてもどうかとの話があった。古紙センターに集められたデータを元に、家庭紙原料の需給の安定や調整に役立てる事が出来ればとの内容であった。又、関東製紙原料商工組合の大久保理事長も古紙センターの副理事長として、過去の体験等で古紙センターの活用についての話があった。

古紙全般の市況について

赤染直納部部长 [東京都製紙原料協同組合]

全般的な市況は、洋紙メーカーは減産強化、板紙メーカーは順調な状況である。裾物 3 品では商社が輸出高値を出してきているので国内主体の古紙業者も耐えている状態である。ここに来て内外格差が広がっている。今後、中国では消費、増産計画が膨らんできている。中国国内の古紙の回収も増えている。しかし、中東情勢でヨーロッパからの古紙の輸入は減っている。今後も、日本から中国へ輸出する量は増えていくので、何とか国内メーカーに納入出来るよう頑張っている状況である。

家庭紙原料について

小林色上委員長 [東京都製紙原料協同組合]

国内の経済は冷え込んでいる。新聞、雑誌は減少している。古紙の発生も減少している。東京協組の上物古紙の在庫も毎月前年割れの状態が続いている。古紙原料価格は内外との価格差が影響を受けている。3 月は 10%ほどの発生増を見込んでいるが、実際はどうなるのか分からない。3 月に入り、発生が多少、増えてきたが、市況が良くなってきたのか、季節的要因で増えてきたのかは判断できない。いずれにせよ、上物古紙の発生の希望は薄いと思われる。輸出に目を向けざるをえないのではないか。今後、需給面で難しくなると思われる。製品価格の修正が実現する事に期待したい。

オフィス系古紙について

高橋委員 [東京都製紙原料協同組合]

発生は少ない。全体的にゴミが減少している。ゴミの 40%は可燃ゴミとして扱われている。シュレッダー、パンフレット類が焼却されている。今後、行政回収、集団回収を含めて掘り起こしが必要になってくるのではないかと。

集荷関係より

松井副理事長 [東京都製紙原料協同組合]

昨年の夏頃から発生が悪く仕事が減っている。製本、印刷関係の会社が廃業や倒産し歯止めがからなくなってきた。

集荷としては、今までの産業古紙だけではなく他の種類の古紙にも手をださなければならない時期にきているのかもしれない。行政回収にも参加していかなくてはいけないのかと考えている。

3月に入り少し発生が良くなってきたが5月の連休前に止まるのではないかという不安がある。出来れば印刷、製本関係からの安定した仕事をしていきたい。

静岡の状況について

[静岡県製紙原料商業組合]

産業古紙の発生が悪く、家庭紙メーカーの引き合いも良くない。家庭紙の製品価格の修正に期待したい。

家庭紙メーカーからの現状と意見

[静岡県紙業協会家庭紙部会]

- ・トイレットの出荷は、昨年1年間で102.2%と増加している。在庫が多いので生産過多なのか調べてみたい。今年の1月は昨年対比94.1%と出荷が非常に少ない。
- ・1月～3月まで減産し生産調整をしているが発生も少ない。通常どおりに操業すれば古紙原料は不足すると思われる。ミックス古紙や他に使える古紙を探していく事も考えなくてはいいかもしれない。
- ・現在は、減産をしているので需要が減少しておりバランスしている状態である。在庫は増えていない。多少の余裕がある。

第8回 合同新年会

広報部副部長 脇 克美

去る1月15日(土)6時より、上野「精養軒」に於いて、第8回 合同新年会が開催されました。ご来賓客もあわせて約150名の出席をいただき、大変盛況な宴となりました。



小森中央支部長の司会により近藤理事長の挨拶ではじまりました。ついで当組合の顧問であり衆議院議員 松原仁様、経済産業省製造産業局紙業生活文化用品課課長 坂本敏幸様、東京都産業労働局商工部経営支援課課長 吉村恵一様の方々からご来賓挨拶を賜りました。



衆議院議員 松原 仁 様



経済産業省製造産業局紙業生活文化用品課
課長 坂本 敏幸 様



東京都産業労働局商工部経営支援課
課長 吉村 恵一 様

ここで司会者から挨拶をいただいている来賓の紹介があり、全原連理事長の栗原正雄様に乾杯のご発声をしていただきました。



全国製紙原料商工組合連合会
理事長 栗原 正雄 様

しばらくの歓談ののち前東京都議会自民党幹事長高島直樹様、(財)古紙再生促進センター専務理事木村重則様の御二人からのご挨拶を頂きました。



前東京都議会自民党幹事長 高島 直樹 様



(財)古紙再生促進センター
専務理事 木村 重則 様

さて、余興の方はここしばらく恒例となっている、支部対抗のカラオケ大会でした。今年はステージ上のスクリーンに歌い手が大写しされ、点数も出てくるという聞きごたえ、見ごたえのあるものとなりました。青年部の司会進行により大いに盛り上がり、各支部代表とも高得点でしたが、1位は文京支部、2位は城北支部、3位は城南支部という結果でした。



お酒も大層いただき、お腹も一杯になってきた頃合いに関東商組理事長 大久保信隆様に中締めのご発声をしていただき、ついで各支部長が登壇して整列し、近藤千代田支部長が代表して閉会の辞を述べて散会となりました。



準備にいろいろとご尽力いただいた正副理事長、常任理事、事業部、青年部の皆様、ありがとうございました。特に司会担当の小森中央支部長については、お疲れ様でした。そして、皆様ご苦勞様でした。

東京返本加工協同組合 新年会開催

事務局

平成 23 年新年会 1 月 27 日（木）池袋・ホテルメトロポリタン 25 階『ポラリス』の間に於いて東京返本加工協同組合 新年会が開催されました。

当日は、当組合の上部団体である東京都製紙原料協同組合の近藤理事長並びに夏目専務理事、日

本出版販売株式会社、栗田出版販売株式会社、株式会社大洋社の幹部の方々、日頃業務及びいろいろな面でお世話になっている皆様方、組合員・職員合わせ総勢 53 名の方々にご出席いただき、盛大に開催された。



式の冒頭、主催者を代表し 工藤理事長が挨拶にたち、2010 年 取次ルート 出版物販売額の話がされ、書籍は 4 年連続、雑誌は 13 年連続前年割れという厳しい状況について話がありました。

続いてご来賓を代表しまして、出版共同流通株式会社 代表取締役社長 高見 吉弘様より、日販の上半期決算状況並びに物流面にて新しい取引形態を確立し、利益の向上を図りたい旨のお話をいただきました。

続いて東京都製紙原料協同組合 理事長 近藤 勝様より紙業界は先がみえない試練の年となり業界をあげて乗り切っていきたい旨の話が述べられました。

出版共同流通株式会社 高田副社長の乾杯により、懇親会が和気藹々の中スタート致しました。



宴中、司会者よりご来賓の方々の紹介がされ、TOM 恒例の初参加者の自己紹介をかねたカラオケ大会では、6 名の方に自慢の喉を披露していただき、途中 高田副社長のサプライズがあり、飛び入り参加で出版共同流通(株) 長田室長、TOM 渡邊理事によるデュエット、また 近藤理事長の飛び入り参加的一幕あり、場は最高潮となりました。

立食形式の各テーブルでは、大きな輪がいくつもあり笑い声が絶えない中、齋藤副理事長の中締め挨拶をもって 19 時 45 分散会となりました。



お忙しい中、懇親会にご出席をたまわりました皆様、誠にありがとうございました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

集荷部新年会を開催

集荷部部长 宮崎 勝保

場所：湯島「江知勝にて」

日時：平成 23 年 2 月 23 日（水）

参加者：21 名

湯島江知勝にて集荷部新年会を行う。

参加者は、近藤理事長はじめ清水副理事長、松井副理事長さらに直納部正副部长と事業部部长そして集荷委員の計 20 名が参加しました。

清水副理事長の挨拶の中で本部会議室にて行った

座談会の内で製本及び印刷業界の不況の為、古紙の発生が減少。その対策についての説明があった。支部によっては、行政回収やオフィス回収をやっている所もあるとのことであった。

私の所属している山手支部では、ほとんどが産業古紙専門なので飛び込みにくいところがあります。集荷の皆様ともう一度話し合えたらと思います。何はともかく、楽しいお酒とおいしいスキ焼きをいただきながら楽しい時間を過ごすことができました。



支部便り

城南支部 新年会開催

城南支部 坂田 英夫

2 月 5 日（土）～ 6 日（日）にかけ恒例の城南支部新年会が群馬の磯部温泉ホテル磯辺ガーデンにて催されました。

私は今回初めて参加させていただきましたが、皆さんがとても温かくお迎えくださったことのお礼を真っ先に申し上げます。

東京駅からの新幹線の車中では、前宴会のように盃をかわし楽しく語らい、あっという間に宿に到着。宿では、ゆったりと温泉につかり、車中でのお酒もすっかり(?)と抜けおなかの準備もできたところで新年会の会場へ移りました。

坂田支部長の新年のご挨拶、新井紙材(株)新井常務様の乾杯のご発声から始まり、豪華な料理と美味しいお酒に舌鼓をうち、カラオケで皆さんのご自慢の喉を堪能させていただき、1 次会・2 次会と夜が更けるのも忘れるほどでした。



翌日は、「縁起だるま」の少林山達磨寺を見学。

お寺の資料には、「縁起だるまの特徴は七転び八起きといわれるように、いくら転がしてもすぐ起き上がります。ですから（起き上がり小法師）、（不倒翁）ともいわれ、その重心の低い安定した形は心の置き所を示し、いかなる困難にも対処できる、落ち着いた心と忍耐力を表します。また、まるやかな形は心の在り方を示し、穏やかで円満な人間性を表しています。」とありました。（あやかりたいものです。）

昼食は蕎麦屋「山形屋」にて、坂田秀一郎様のご好意によりくじ引きなどを楽しみ、帰路につきました。

最後になりましたが、幹事を務めていただいた坂田紙業 坂田様、石井商店 高木様に感謝申し上げます。また、参加者の皆さんのおかげで楽しい時を過ごすことができましたことを御礼申し上げます。

城南支部の皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げ、報告とさせていただきます。

荒川支部新年会開催

荒川支部長 久保田 貞行

平成 23 年を迎えて仕事も始まりました。

1 月 5 日（水）午後 6 時半より根岸「宮川」にて荒川支部新年会を開催致しました。

20 名の支部員に出席していただきました。今年こそ良い年になってもらいたいという希望を持ちながらも一方では、景気回復にはなお時間がかかりそうだし政治の方も依然として停滞している状況で不透明な年の始まりとなりました。

支部員一同おいしい料理を頂きながら、コンパニオンとの会話に盛り上がり、皆さん和やかに 2 時間程、宴会が続きお開きとなりました。

江墨支部新年会開催

江墨支部幹事 埜島 昌利

1 月に合同新年会が有り、支部会として参加しますので、支部の新年会は 2 月 19（土）に夫婦同伴での会となりました。今回は、組合本部より清水副理事長と赤染直納部部长と宮崎集荷部部长に出席していただき、総勢 20 名にて午後 6 時 30 分より行いました。



松井支部長の新年の挨拶で開演となり、引続き来賓の方々による挨拶をいただきました。石橋集荷部副部長の乾杯のご発声で宴会が始まり、コンパニオンも加わり楽しい時が過ぎました。途中、

支部員の奥様方に恒例のお年玉が配られました。
2 時間ほどの宴会も終わりが近づき、集合写真の撮影をしました。最後に、組合と支部の発展を願い、那須野さんによる中締めで会が終了しました。

組合員紹介

広報誌では、組合員の方を毎号 2 ～ 3 名下記の要項で順次、ご紹介していく予定です。

〔中央支部〕

(株) 富善商店 トミオカ 富岡 リョウジ 良二



年 齢 : 52 歳
血液型 : A 型
体 型 : 普通
似ている人、
又は動物にたとえたら : 子豚
業界歴 : 26 年目
何代目 : 3 代目
他業界歴 : 3 年
趣 味 : ゴルフ・町会ボランティア
特 技 : 町内会の議事録作り
好きなスポーツ : 野球、サッカー
〃 歌 手 : テレサテン
飲 酒 : レモンサワーのみ
タバコ : マイルドセブン
お薦めの店 : 鉄砲州三喜鮨

お薦めの施設 : 築地市場
〃 : 聖路加タワーのテラス
自分の性格 : おっとり、情にもろい、気が長い
世話好き、だらしない

〔古紙業界に入って思う事〕

- ①気を付けている事 : 深酒をしない
- ②大切にしている事 : 商売道具のトラックを綺麗にする
- ③業界に入って悪かった事 : 年収が毎年下がった

〔組合に対して〕

広報誌を楽しみにしています。これからもよろしくをお願いします。

〔山手支部〕

中谷紙業 (株) ナカタニ 中谷 ヒロヤス 浩康



年 齢 : 46 歳
血液型 : A 型
体 型 : がっしり
似ている人 : カンニング竹山
業界歴 : 7 年目
何代目 : 3 代目
他業界歴 : 20 年
業 種 : ビル管理業、折本業
趣 味 : 高校野球観戦
資 格 : 商業簿記 3 級
免 許 : 普通自動車免許、フォークリフト免許
好きなスポーツ : 高校野球
〃 俳優 : 緒方直人

好きな歌手 : 柴崎コウ

// 作家 : 西村京太郎

// 学科 : 地理

// 言葉 : 感謝

// 食べ物 : 鶏肉

嫌いな食べ物 : ぬか漬け

飲 酒 : ビール、日本酒、サワー

タバコ : 吸わない

お薦めの店 : 炭火ホルモン焼 しちりん

// 施設 : 甲子園球場

// 場所 : 西伊豆松崎町

いつか行きたい所 : 四国道後温泉

自分の性格 : おっとり、気が長い、几帳面

[古紙業界に入って思う事]

①気を付けている事 : 古紙の品質管理に努める

②大切にしている事 : 古紙への情熱

③業界に入って良かった事 : 環境問題に貢献

④仕事上で組合員同士のネットワークに興味がありますか? : ある

組合員の広場

ニュージーランド旅行記

理事長 近 藤 勝

2月中旬、あるメーカーの工場見学でNZへ行くことになった。広報誌への寄稿を頼まれていたので帰国後、忘れない内にと原稿を書き始めていたが、22日朝NZで地震があったというニュースを聞いた。日本と同じ地震国だからと軽く考えていたが、翌日から実態が明確になるにつれ大変な騒ぎとなってきた。いろいろと楽しかった話を書こうとレポートを纏めていたもののあまりのショックで筆が止まってしまった。以来半月が経過し原稿締め切りの連絡が入ったので一瞬困った

と思ったが、再度書くことになった。クライストチャーチは地震の日の5日前に滞在していた。あの美しい町で百人以上もの生き埋め死者が出たのは本当にショックだった。記念写真を撮った大聖堂も崩壊した。他人事ではなかった。



成田から9,000キロ10時間半のフライトで北島にあるオークランドに到着。地球一周の約4分の1を飛んできた。現地のガイドは開口一番「是非サーモンを食べて下さい。NZ産は頭から尻尾まで全て大トロです。」との事で国内線待ちの時間にサーモンの寿司を食べる。確かに日本の寿司と変わらず脂が乗って旨い。又、ここは南極に近い為、オゾン層が薄く紫外線は日本の7倍でサングラスは必需品らしい。でも私はあまり似合わないで掛けるのをやめた。国内線のプロペラ機に乗り換えネイピアという小さな町へ向かう。途中窓からの眺めは、全部ゴルフ場かと思えるほど美しく、整備された草原が延々と続く。正に羊の天国、牧草地帯だ。NZの人口は400万人、羊は4,000万頭で人の10倍もいる。国技はラグビー、水も美術館も無料、バンジージャンプ発祥の地でもありアウトドアスポーツのメッカ、そして旅行者がもう一度行きたい国ナンバーワンの海、山、湖の大自然に囲まれた美しい国だ。

ネイピアに到着すると早速、工場見学。NZ は植林の国でもあり 30 年物の大量の松の太木が大型トラックで次々と運び込まれる。この工場ではまず製材を優先しコンピュータ化された大型マシンで正確にカット、残った端材や曲がった材木がオートメーションでチップ化され、又、パルプ化された後、全てを近くの港から日本を初め世界各国に輸出している。現地駐在の社員さんと夕食を共にする。本場のワインを頂きながらラム肉料理を食した。硬い肉を想像していたがビーフシチューのように煮込んだとても柔らかく美味しい料理で大満足。羊の肉は 1 才未満がラム、2 才以上がマトン、その中間をホゲットと呼び、こちらではラムだけを食べ、ホゲット以上の食肉は全て輸出しているとの事でした。翌日は世界ランキング 49 番目という断崖絶壁の上にレイアウトされた絶景と超高速グリーン、ラフに打ち込むと 90%ロストになってしまう難関ゴルフコースへ出かけた。シングルプレイヤーでもラウンドで 10 個はロストするというだけあって、ラフは髪の毛のように長くふわふわしていてボールが中に潜ってしまい見つからない。あったとしても出すのはまず無理、いつの間にか、入ったら 2 ペナ、あっても 1 ペナで外へ出して打つといった暗黙のルールに変わっていた。風雨も強く成績は散々たるものでしたが、世界レベルとはこういうものかと痛いほど思い知らされた。

翌日、ネイピアを後にして南島へ向かう。クライストチャーチを一日観光して夕方の便でクイーンズタウンへ向かった。クライストチャーチはオークランドに次ぐ二番目の大都市で首都のウェリントンよりも大きい。別名ガーデンシティーとも呼ばれる美しい町で日本からも老後、北向き(日本とは逆)の高級別荘を購入し夏の間だけやってくるという人が大変多いらしい。

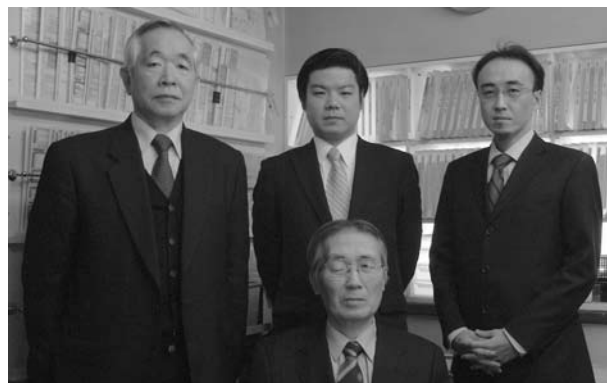
市内観光の途中、エイボン川ほとりのモナ・ベ

イルという古い豪邸にある有名なレストランで昼食をとった。あの 5 日後の昼の大地震が来ていたら間違いなく巻き込まれていたと思う。入場料無料の美術館にも入った。2 階の一室に NZ の大地震図が壁にあり各都市の現在の震度がデジタル表示されていた。やはり日本と同じ地震大国なのだと感じて見ていたが 5 日後に大地震がやってくるとは何処にも書いていなかった。町を中心部である大聖堂の前で写真を撮ったが今は崩壊して写真の姿はない。自分が幸運であったといえそうだが、本当にショックだ。

その後、クイーンズタウンへ移動し、オークランドへ戻って帰国の途についた。クイーンズタウンでも再度、有名ゴルフ場でプレイをしたが、全く同じラフに泣かされた。これ程、日本の普通のゴルフ場へ行きたいと思ったのは初めての事だった。他にも面白い思い出話は沢山あったが、大地震によって命を落とした方々や確認さえ出来ない方々の事を思うと、これ以上書く事が出来ません。ご冥福をお祈り申し上げます。

損害保険代理店の紹介

**あいおいニッセイ同和損害保険株式会社代理店
株式会社ウィル・プロモート**



日頃より組合様には大変お世話になっております。あいおいニッセイ同和損害保険株式会社代理店、株式会社ウィル・プロモートと申します。

組合様の総合名簿に協賛広告を毎回掲載させて頂いておりますが、今回、このような場を頂戴いたしましたので、ご好評頂いております保険商品に関しまして少しご案内させていただければと思います。

機密文書等情報漏えい

昨今、個人情報の取扱いが非常に厳しくなっております。経営者様におかれましては、避けては通れない問題であると思います。特に、機密文書を取り扱う事のある古紙回収業者様にとって、情報漏えいはリスク・マネジメントの一部として認識されているものと思われます。万が一、情報が漏えいし、民法上の賠償責任が発生いたしますと、訴訟費用、弁護士費用、更には様々な諸費用等、企業様の金銭的な御負担は大きいものになってしまいます。会社のイメージダウン、訴訟等に割かれる貴重なお時間、ご契約の解除等、賠償責任そのものの以外にも様々な問題が山積みになってしまいます。

そこでリスク分散の一環と致しまして、損害保険で賠償責任部分を補う形を取られる経営者様が昨今、多く見受けられます。様々な保険会社で取り扱っております、個人情報の漏えい賠償責任保険がそれに当たるのではないのでしょうか。

ですが、一般的な情報漏洩を担保する保険商品は“個人”情報に限定されている場合が多く、“法人”情報まで保険の対象としたものはかなり限定されています。現在既にご加入済みの場合も今一度保険商品の内容をご確認頂けるとご安心かと思われます。保険商品の中身の検証は現在の保険ご担当者様にご相談されるのが通常ではございますが、他社商品であっても弊社にご相談頂ければ精査させて頂き組合の損害保険代理店として皆様の業務サポートをさせていただきます。また、そういった機会に弊社商品の担保範囲や金額面において比較検討して頂ければ幸いに存じます。

弊社では、法人・個人問わず、情報の漏えいによる賠償責任を補てん可能な保険をご用意致しております。既にご加入して頂いた組合員様もいらっしゃる、情報漏えいに対する大きな安心を得ただけでなく、古紙回収先での反響も良く、胸を張って営業が出来る大変嬉しいお言葉も頂戴いたしております。

組合員様向け損害保険割引制度

弊社は、組合員様の損害保険代理店として、集団扱制度という割引制度を扱っております。自動車保険・火災保険・賠償責任保険・傷害保険・医療保険等損害保険全般を取り扱っておりますが、これらは、法人契約のみならず、役員様、従業員様個人に適用可能で御座います。コスト削減の一環として、これまで通り、お気軽に御相談頂ければと思います。

最後になりましたが、組合員様のますますの御発展を心よりお祈り申し上げます。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社代理店
株式会社ウィル・プロモート

TEL 04-2945-3845

FAX 04-2945-3865

担当：近藤靖俊・近藤修・福島金重・宮内亮一

～シリーズ～

新東京タワーの見える街

「スカイツリー 30 景」その④

専務理事 夏目 茂

東京スカイツリーは平成 23 年 3 月 1 日に 601 メートルを越え、自立式電波塔としては世界一となりました。3 月中には 634 メートルに達する予定です。

現在は、特別展望台（第二展望台）の上にあるアンテナ部分の工事が進んでいます。

平成 22 年 12 月 24 日のクリスマスイブにはスカイツリーがイルミネーションで飾られました。



写真 30 景 -13 (H23 年 3 月 5 日撮影)

スカイツリーを中心とした開発街区全体の名称が東京スカイツリータウンとなりました。低層階及びオフィスビル最上階の商業施設の名称は東京ソラマチ。押上側に建設されるオフィスビルの名称が東京スカイツリーイーストタワーとなります。また開業に合わせて東武伊勢崎線業平橋駅の駅名を「とうきょうスカイツリー駅」に変更し、駅施設のリニューアルも行う予定です。

ところでスカイツリーが何故、3 本足なのか皆さん、ご存知ですか？

皆さんがよく知っている鉄骨でできたタワーといえば東京タワーや通天閣、他のテレビ塔、海外ではエッフェル塔などではないでしょうか。これらのタワーの共通点のひとつは、大きく見れば「4 本足」で立っていることです。接地部の平面をみると、全体の輪郭は四角形で、その 4 つの頂点から鉄骨の足が伸びていき、上部でひとつになっ

て、細くなりながら頂部まで伸びていくかたちです。一方、東京スカイツリーは 3 本足で立っていて足元は三角形の平面をしています。その理由とはというと……

東京スカイツリーの建つ墨田区押上は浅草、向島など伝統ある下町に囲まれ、東武線、地下鉄、水上バスなどが行き交う交通の要所にあります。なかでも建設地は、隅田川、荒川、南側の鉄道路線・幹線道路という 3 本の「都市の軸」に囲まれた地勢の中央に位置しています。面白いことに、それら「都市の軸」に直交する主な「通り」の焦点に、東京スカイツリーが位置しているのです。そこで、ツリーに向かって伸びている「通り」から訪れる人に対して、ツリーが正面を向いてお迎えする格好となるように、3 つの面が「通り」に向き合うかたち、つまり、三角形にしたのです。このことは、タワーが街と人に向き合い、交流を促すようなかたち、と、言えるかもしれません。また、墨田区の紋章も三角形をモチーフにしたもので、墨田区に建つタワーとして似つかわしいとも言えそうです

また、耐震性の面から見ても法隆寺の五重の塔を参考にして、心柱（鉄筋コンクリート造の高さ 375m 直径約 8m の円筒で内部は階段）により地震などによる揺れを抑える心柱制震構造となっています。アンテナが取り付けられる「ゲイン塔」の上には制振装置（総重量約 100t で、バネの上に乗った重りでアンテナの揺れを抑える）が設置されるそうです。

“ちょっと！ひと休み”（路地裏散歩）

今回は、東京スカイツリーの下にあり、浅草通りからひとつ裏路にあるお店や建物をご紹介します。名付けて東京スカイツリー路地裏散歩。少し錦糸町よりの路地を 1 本～2 本入ると、我が業界に関係した小さな製本業者や印刷会社が数多くあります。大相撲で有名な魁皇のいる相撲部屋がすぐ傍にあります。隣には業界に関係する会社？の看板も見えますね。



写真 相撲部屋と紙販売の会社



写真 和菓子屋「森八」

下町ですが、お洒落なお店だってあるんですよ。

ロングボードカフェは、店内にハワイアンが流れ、ロコモコなどの料理も。わざわざ湘南から足を運ぶサーファーや某有名歌手などが時々、顔を見せるお店です。



写真 LONGBOARD CAFE

実は、墨田区にはお城があるんです。ご存知でしたか？でも、良く見ると和菓子屋さんなんですけどね（笑）「おしなり君饅頭」はここでも売っています。



写真 おしなり君

アンテナ部分が出来ますと容姿としては、ほぼ完成ですね。下記の写真は今年の 11 月と 12 月のものです。今回は少し変わった角度からスカイツリーを特集してみました。



写真 30 景 -14

(平成 22 年 11 月 28 日撮影)
ビルの谷間から見るスカイツリー

写真 30 景 -15

(平成 22 年 12 月 24 日撮影)
クリスマスイルミネーション



写真 30 景 -16

(平成 22 年 12 月 30 日撮影)
車の窓に映ったスカイツリー



♪ことわざミニ知識♪

「矛盾」

中国の「韓非子」出典。楚の国に矛(ほこ)と盾(たて)とを売る者がいて、自分の矛はどんな盾をも破ることができ、自分の盾はどんな矛をも防ぐことができるかと誇っていたので、人が「お前の矛でお前の盾を突いたらどうか」といわれ、答えられなかったという故事に基づく。この事から「事の前後のととのわないこと」「つじつまの合わないこと」の意味になる。

現代にあっても最新兵器の売り込みで、どんな防衛システムも破る事が出来る兵器、どんな攻撃も防ぐ事ができる兵器と、大昔と同じような事を繰り返している。

支部スケジュール

千代田支部

支部会 4月 5日(火) 菜の家
総 会 4月 5日(火) 庄 司
支部会 5月 9日(月) 菜の家
支部会 6月 6日(月) 菜の家

中央支部

支部会 4月 15日(金) きくち
支部会 5月 13日(金) 玉寿司
支部会 6月 10日(金) きちく

文京支部

総 会 4月 11日(月)
支部会 5月 9日(月)
支部会 6月 8日(水)

台東支部

総 会 5月中旬 場所未定

荒川支部

総 会 4月 9日(土) 箱根湯本

足立支部

総 会 4月 16日(土) 北千住

支部会 6月 11日(土) 北千住

山手支部

総 会 4月 16日(土) 鯨やなぎ

支部会 5月 19日(木) 鯨やなぎ

支部会 6月 18日(土) 鯨やなぎ

城南支部

総 会 5月 21日(土) 立合川
「吉田屋」

江墨支部

総 会 4月 19日(火) 吉野すし

支部会 5月 19日(木) 吉野すし

支部会 6月 20日(月) 吉野すし

城北支部

総 会 4月 16日(土) 熱海・金城館

支部会 5月 13日(金) 池袋・東名大飯店

支部会 6月 9日(金) 池袋・東名大飯店

◎第 55 回 通常総会

第 49 回永年勤続従業員表彰

期日：平成23年5月23日(月)

場所：上野精養軒

時間：午後 3 時 30 分より

お 知 ら せ

〔4 月会議・催事予定〕

- 4 月 4 日（月） 常任理事会（pm2：30）
 理事会（pm4：00）
 組合会議室
- 4 月 11 日（月） 総会資料検討（pm4：00）
 組合会議室
- 4 月 15 日（金） 会計監査（pm4：00）
 組合会議室
- 4 月 25 日（月） 古紙センター業務委員会
 （pm1：30～）
 〃 全原連役員会（pm2：45～）
 センター会議室

〔古紙品質調査事業〕

平成 23 年 1 月～3 月価格

〔新聞 古紙〕	16,000 円 / トン
〔段ボール 古紙〕	16,000 円 / トン

〔古紙価格〕

〔東資協の古紙 4 品の標準売値〕

平成 23 年 2 月 8 日現在

新 聞	9 円～10 円（横ばい）
雑 誌	7 円～8 円（横ばい）
段ボール	8 円～9 円（横ばい）
色上（並）	7 円～8 円（横ばい）

〔社名及び代表者変更〕

千代田支部：名古屋紙業（株）代表者 名古屋勝彦様

→ 平成 23 年 4 月 1 日より

新会社名 株式会社 ナコジ

新代表者 辻 昭彦 様（代表取締役社長）

尚、名古屋勝彦様は代表取締役会長となります

〔代表者変更〕

台東支部：近藤美実商店 代表者 近藤 美実 様
 →新代表者 近藤 一宏 様

〔計 報〕

山手支部：○浜近藤紙業（代表者 近藤友宏 様）
 のご尊父 近藤満様（享年 83）が平成 23 年 1 月
 12 日（水）にご逝去されました。

台東支部：（株）國光 代表取締役社長 深田和利様
 （享年 63）が平成 23 年 1 月 31 日にご逝去され
 ました。

足立支部：上州屋商店 代表者 上岡正矩様
 （享年 70）が 2 月 18 日にご逝去されました。

会 議 概 要 [1 月・2 月]

1 月度定例理事会

〔平成 23 年 1 月 12 日（水）〕 pm4：00

出席理事 26 名 於）組合会議室

近藤理事長挨拶

新年おめでとうございます。昨年は国民読書年という明るい話題でスタートしましたが、途中から電子書籍元年と変わって厳しい年となってしまいました。古紙の発生が悪く苦しんでまいりましたが、そんな中、洋紙向けと家庭紙向けの上物古紙の価格が 2 回にわたり上がったのが、せめてもの救いでした。本年は統一地方選挙の年で、少しは紙の消費が伸びると思われますが大きく変わる事はないと考えております。引続き、関連業界との交流を通して情報交換していきたいと思っております。今年の 5 月の総会は、役員改選にとも

ない皆様のご協力を一層賜りたいと思いますので
よろしくお願い致します。

【各部報告】

【直納部】

1 月度の共販輸出検討委員会は 3 社による入札となりました。結果、(株) ジェーオーピー (株) が先月より 2 円 50 銭の下げで落札しました。輸出先は、フィリピン、韓国。市況は、フィリピンは 3 月～ 4 月にかけて需要期に入るため引き合いは強くなってきている。中国は、1 月は 2 月の旧正月が絡んでいるため中旬まで引き合いが強く、輸出用コンテナが不足してきている。裾物 3 品は国内価格よりも高く推移している状況。

【品目別市況】

【家庭紙】 発生が良くない。12 月は出荷が少ない分、在庫が増えた。トイレットペーパーは 4～5%、テッシュペーパーは 2%ほど出荷が増えているようである。家庭紙メーカーの在庫は温度差があるが減少傾向である。メーカーは古紙原料の入荷に頭を痛めておりタイト感が今後も続くのではないかとと思われる。今後、製品価格がどう動くかが鍵になるのではないかと。

【段ボール】 段ボールの発生は悪く、国内は減産状態。輸出価格は国内を上回っている。

【新聞・雑誌】 新聞の発生は悪く、中国からの引きが強い。

雑誌は発生が悪く、国内メーカーへの納入が難しくなっている。輸出価格との差が出てきている。

【台紙】 発生が悪く、変化なし。

【返本】 発生は毎月前年比で 10%落ちている。全体的に悪い中、書籍が頑張ってきているようである。雑誌は付録付きが増えてきている。

【オフィス古紙】 発生が悪い。

【集荷部】

発生が悪く仕事がすくない。1 月と同じくらい 12 月が悪かった。パンフレットが少ないせいか中とじが少ない。

2 月に新年会を開催する予定である。

【広報部】

広報誌は 1 月新年号を作成中。掲載内容は、正副理事長・TOM の理事長の新年の挨拶がメイン。他に 11 月の中国の工場視察や清風会、直納部、青年部の忘年会。各支部の忘年会が中心となり、ページを盛り上げている。

【事業部】

都市近代化事業協同組合より新事業として自動車共済保険の説明があった。現在、加入中の民間の損害保険の自動車保険と比較して同じ条件で 5%～10%の割引で加入が出来る。組合にも手数料が支払われるメリットがあり、新事業として検討していただきたい。

合同新年会の準備が大詰めにきている。

【青年部】

2 月に組合会議室で外部講師を招き勉強会を開催する予定。

【近代化推進委員会】

経営革新委員会：古紙商品化適格事業所が有効でできるよう全国の自治体にたいしてアピールしていく計画がある。

古紙センター関東地区委員会

【平成 23 年 1 月 24 日 (月)】 pm2:00～
於) 古紙センター会議室

【需要動向】 10/12 月 単位トン、
() は対前年同月比、在庫の () は在庫率

【関東商組 32 社実績】

【新 聞】	仕 入	77,562 (94.9%)
	出 荷	72,319 (93.9%)
	在 庫	14,009 (19.4%)
【雑 誌】	仕 入	58,846 (99.5%)
	出 荷	52,752 (98.8%)
	在 庫	13,017 (24.7%)
【段ボール】	仕 入	144,225 (101.7%)
	出 荷	134,436 (103.8%)
	在 庫	22,113 (16.4%)

【関東・静岡実績】

【新 聞】	入 荷	232,172 (91.2%)
	消 費	221,882 (92.7%)
	在 庫	184,793 (83.3%)
【雑 誌】	入 荷	112,274 (91.8%)
	消 費	108,513 (92.8%)
	在 庫	60,060 (55.3%)
【段ボール】	入 荷	291,645 (102.0%)
	消 費	278,654 (106.4%)
	在 庫	97,608 (35.0%)

【業者側コメント】

【新聞・雑誌】

新聞の本文は、11 月～12 月は前年と比べるとほぼ同じ。チラシは 12 月が前年比 103%と多少増加しており、大都市のマンションや不動産関係が多くなってきているためではないか。新聞の部数が減少しており、日経の販売数も減少している。雑誌は昨年、休刊、創刊が多く過去最低であった。悪い中でも一部のマンガ週刊誌のようなブランド誌の販売数が増えた。雑誌古紙の輸出数量が増えている。

【段ボール】

段ボール古紙の輸出量は前年対比 90%であった。メーカーへの納品量は予定数量分収まったと思われる。

【メーカー側コメント】

段ボールは昨年、気候の関係で影響を受けた青果物関係が元に戻ってきている。12 月は前年対比 103%で 1 月も加工食品等でカバーされ、多少、プラスになるのではないかとと思われる。段ボール原紙は、12 月は前年対比 107%と比較的順調であった。1 月は、やや控えめな状況が続いている。新聞の入荷は、12 月は予定の範囲で収まった。減産は緩和されてきた。新聞はページ数が 12 月は増えている。広告部数も増えている。週刊誌も部数が増えてきている。

古紙センター業務委員会

【平成 23 年 1 月 31 日 (月)】 pm1:30 ～

於) 古紙センター会議室

- 【1】 センター事業の見直し（事業見直し委員会検討経過）について
 - 【2】 (社) 日本雑誌協会の昇華転写紙（捺染紙への対応について
 - 【3】 集団回収実施団体への感謝状交付（関東・静岡地区委員会推薦）について
 - 【4】 古紙の需要・市況動向について
- ページ数の関係で割愛させていただきます。

2 月度定例理事会

【平成 23 年 2 月 3 日 (木)】 pm4:00

出席理事 26 名 於) 組合会議室

近藤理事長挨拶

1 月 15 日の精養軒での新年会は、盛大に開催する事ができました。役員の方々のご協力ありがとうございました。

今後の日程としては、役員の改選を含み 5 月の総会の準備を進めていきたいと思っております。

又、静岡県紙業協会家庭紙部会に向けての対応も合わせて進めていきたいと思います。

昨日、古紙センターで第 6 回目の昇華性転写紙混入防止対策会議が行われ、最終的に昇華性転写紙は、焼却、あるいは RPF 処理とする旨の結論が出ました。色々なリーフレット、サンプル、調査報告書が出来あがったので回覧してください。尚、3 月 11 日の静岡県紙業協会家庭紙部会の懇談会に（財）古紙再生促進センターも参加予定である。

〔各部報告〕

〔直納部〕

2 月度の共販輸出検討委員会は 3 社による入札となった。結果、松本光春商店（株）が先月より 50 銭の上げで落札し、輸出先は中国。中国の市況は、1 月下旬は価格上昇を見せたが、2 月上旬は旧正月で価格の動きが鈍くなると予想される。引続きドレージの混雑が予想されるが中旬以降は安定し、価格は徐々に下がるのではないかと推測される。一方、仕向地、フィリピン、韓国での市況は、需要に関しては強含み。相変わらず円高傾向にあり円建てになりますと、先月より若干、弱含みになる。

中国は 2010 年でもマシンの増設が目白押しとなっている。この状況が 5 年続くのか、10 年続くのかは人により意見が違ふようである。いずれにせよ中国からの古紙の需要は今のところ継続していくと思われる。

〔品目別市況〕

〔家庭紙〕 家庭紙メーカーは春に製品価格の修正を期待しているようである。それによる生産調整を行っているようだがメーカーによりまちまちで、製品在庫は減少してきている。売れ筋の商品にはタイト感が出ているものもある。実際に製品価格の修正が実現されるかがポイントとなるのではないと思われる。1 月の古紙原料の発生は、

上物、オフィス古紙共に悪い。

〔段ボール〕 12 月、段ボール古紙は国内メーカーへ潤沢に納入できた。1 月もバランスがとれているようである。中国への輸出は、マシンの増設があれば古紙が必要となってくる。しばらくは現状のような状況が続くが、先々は落ちていくと予想している。現在は、旧正月を迎え動きが出ていない。

〔新聞・雑誌〕 特に変化はない。12 月末はメーカーに古紙在庫が、多少あったが、1 月は少し減少した。

〔台紙〕 発生が悪く、変化なし。

〔集荷部〕

相変わらず発生が悪い。中とじ業者で廃業している所が増えている。産業古紙が減っていく中、今後、どのようにしたらいいのか検討したい。

〔広報部〕

先日、広報誌の 1 月新年号がお手元に届いたかと思う。先日、広報委員会を開き 3 月号の掲載記事についての打ち合せをした。「時の視点」では集荷部をテーマにして“集荷の現状と将来の可能性と方向性”について記事を掲載したい。座談会方式で集荷部及び関係者に集ってもらい記事を作成する予定。他に、組合員の紹介をアンケート方式により作成予定。アンケートフォームを作り質問について答えてもらう形式を考えている。アンケートが出来たら支部長から支部員に配布してもらう予定でいる。

〔事業部〕

1 月 15 日の新年会の協力に対してのお礼。都市近代化事業協同組合の自動車共済保険については再度、詳細について検討する。

〔青年部〕

青年部主催のタイ・バンコク海外研修を 2 月 18 日～ 22 日に実施する。参加は 10 名弱の予定。

〔近代化推進委員会〕

需給委員会：1 月 31 日の需給委員会で「今後の輸出動向」について話があった。

IT 委員会：配布資料の通り。

〔各支部報告〕今後の各支部会、新年会の日程が報告された。

古紙センター業務委員会

〔平成 23 年 2 月 24 日（木）〕 pm1：30 ～
於）古紙センター会議室

- 〔1〕平成 23 年度事業計画（案）について
- 〔2〕昇華転写紙（捺染紙）混入防止のサンプル、リーフレットの作成について
- 〔3〕「古紙標準品質規格」、「雑紙、オフィスペーパー分別排出基準」での捺染紙の名称変更について
- 〔4〕古紙の需要・市況動向について
ページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連第 7 回役員会

〔平成 23 年 2 月 24 日（木）〕 pm2：45 ～
於）古紙センター会議室

理事・監事 63 名：出席 63 名

（内、委任出席 32 名）欠席 0 名

（1）古紙再生促進センター 関係

●業務委員会（1 月 31 日開催）

◎副委員長の一部選出について

- ・深田和利副委員長逝去に伴い、大久保信隆関東商組理事長を副委員長に選出。

◎平成 23 年度事業計画（案）について

- ・古紙品質安定対策事業、広報宣伝事業、調査研究事業、債務保証事業、その他の事業について各々の事業見直しを行う。

◎昇華転写紙混入防止のサンプルキットとリーフレットの作成について

- ・昇華転写紙（捺染紙・アイロンプリント紙）適正処理のためのサンプルキット

（5,000 部作成）

- ・昇華転写紙（捺染紙・アイロンプリント紙）の排出方法についてのお願いのリーフレット

◎「古紙標準品質規格」、「雑がみ・オフィスペーパー分別排出基準」での捺染紙の名称変更について

- ・「捺染紙」の名称を「昇華転写紙（捺染紙・アイロンプリント紙）」に変更する。

◎今後の日程

平成 23 年 3 月 16 日（水）14：00～ 15：00

業務委員会（センター会議室）

（2）経済産業省 関係

◎第 3 回懇談会（1 月 17 日開催）について

- ・古紙市場を不安定化させる要因を抽出及び分析し、古紙市場安定化に向けた方策を検討（事務局窓口：矢野経済研究所）。

- ・3 月末までに冊子（70 ページ）を作成する。

（3）全原連 関係

◎審議事項（役員会上程、承認事項）

- ①「古紙商品化適格事業所」・「古紙リサイクルアドバイザー」申請認定について……承認
- ・古紙商品化適格事業所：2 月 15 日（2 社、2 事業所）累計（417 社 831 事業所）
- ・リサイクルアドバイザー：2 月 15 日（6 社、26 名）累計（440 社 2,073 名）

②自治体における高値入札に関する対応策について・・・承認

- ・高値入札の実態については、再度各単組で対応スキームをまとめた上、需給委員会に小委員会を設置し、今後検討する。(落札価格・契約仕様の内容等)

③古紙持ち去りに関する対応状況について

(1) 全原連「古紙持ち去り問題実態調査」集計速報(概要)について説明。

(2) 東京都における「古紙持ち去り問題対策検討協議会」の動き

第 3 回開催予定：3 月 15 ～ 16 日

出席者：東京都環境局廃棄物対策部、行政
(台東区、港区、国立市、日野市)
製紙メーカー、直納問屋、回収業者、
古紙再生促進センター、警視庁

④副理事長の選出について・・・承認

- ・深田和利副理事長逝去に伴い、後任副理事長として大久保信隆関東商組理事長を選出し、任期は前任者の残任期間とする。(全原連理事会にて決定)

⑤国際古紙会議準備委員会委員の選任について・・・承認

- ・準備委員会のメンバー：各単組理事長および需給委員会委員で構成。

⑥古紙リサイクルアドバイザー認定制度改定について・・・承認

- ・当該制度を「古紙リサイクルアドバイザー」と「古紙品質管理責任者」の 2 階建てにする。
- ・認定試験についても「古紙リサイクルアドバイザー」と「古紙品質管理責任者」に分けて平成 23 年度中に実施予定。

⑦古紙商品化適格事業所認定書発行手数料について・・・承認

- ・社名及び事業所名変更に伴う認定書再発行に係る手数料を 1 通 1,000 円とする。

⑧古紙リサイクルアドバイザー用サブテキストについて・・・承認

- ・ページ数：42 ページ、組合員売価：1 冊 500 円(全原連単価：1 冊 200 円)、作成部数：3,000 部
- ・各単組にて必要部数を全原連事務局に連絡のこと。

古紙センター関東地区委員会

[平成 23 年 2 月 25 日(金)] pm2:00 ～
於)古紙センター会議室

[需要動向] 10/12 月 単位トン、
() は対前年同月比、在庫の () は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新 聞]	仕 入	64,364 (95.2%)
	出 荷	67,305 (93.0%)
	在 庫	11,068 (16.1%)
[雑 誌]	仕 入	50,501 (96.7%)
	出 荷	53,750 (95.2%)
	在 庫	9,768 (18.2%)
[段ボール]	仕 入	115,185 (100.1%)
	出 荷	122,601 (100.6%)
	在 庫	14,697 (12.0%)

[関東・静岡実績]

[新 聞]	入 荷	207,746 (97.4%)
	消 費	228,935 (97.4%)
	在 庫	163,604 (71.5%)
[雑 誌]	入 荷	108,341 (96.4%)
	消 費	105,147 (95.9%)
	在 庫	63,254 (60.2%)
[段ボール]	入 荷	263,451 (105.0%)
	消 費	252,800 (105.0%)
	在 庫	108,259 (42.8%)

〔業者側コメント〕**〔新聞・雑誌〕**

新聞の発生は前年の 1 月と比較して本文が 105%、チラシが 100%と減少傾向は終わったようである。発行部数は前年と比べると 97%だが、10 年前と比べると 88%と悪く、減少傾向に歯止めがかからない状況である。

雑誌の販売部数は前年と比べ 4.3%マイナス、書籍は 2.2%のマイナス。発行部数は雑誌が 5.7%マイナス、書籍が 4.7%のマイナス。発行部数の前年比が販売部数の前年比より減っていて返品率が改善されているようである。

〔段ボール〕

段ボール古紙の回収は順調だった。輸出で仕入れ価格に高値が出ている。

〔メーカー側コメント〕

新聞は大手のメーカーは入荷分をそのまま消費している。12 月の在庫は、入荷が予定通りで安定在庫だったが、2 月は入荷のペースがダウンしている。

段ボールの生産は、去年の後半より回復基調となっている。1 月は昨年と比べ 102%～103%でラーメン等の暖かに物の関係やエコ関係の物が動いた。2 月も同様の感じで動いている。

編集後記

広報部部长 清水 弘允

地震が起きた時、富士市で静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会に出席していた。

まず停電になり、どうしたのかと思った直後、ゆっくりと横揺れが始まりなかなか止まらない。

全員で建物の外に出たが、懇談会の会場にある事務所で TV チェックしたら三陸沖で M7.9 の地震が発生した事を知る。あとで M9.0 の巨大地震である事を知り驚く。

我々は車組と新幹線組に分れた。

新幹線組は、急用のため上京を選んだ参加者を除き、残り 6 名は富士市にとどまって情報を集めた。結局、帰宅出来ない事が判明したので旅館に泊まった。

津波は、ツナミとしてそのまま英語で通じる言葉である。それ程、世界に知られた災害だが、いつ襲って来るかわからないので、つい対策が後手に回ってしまう。

今回も多く犠牲者が出た。心からご冥福をお祈りしたい。

災害が起きると略奪・暴行が起きる事は外国では珍しくない。日本人は秩序ある行動で災害に立ち向かう素晴らしい国民である。

古紙業者、製紙会社、その他取引先で直接、間接に被害に遇われた方もおおいと思われる。業界一丸となり、復旧に向け努力したい。